

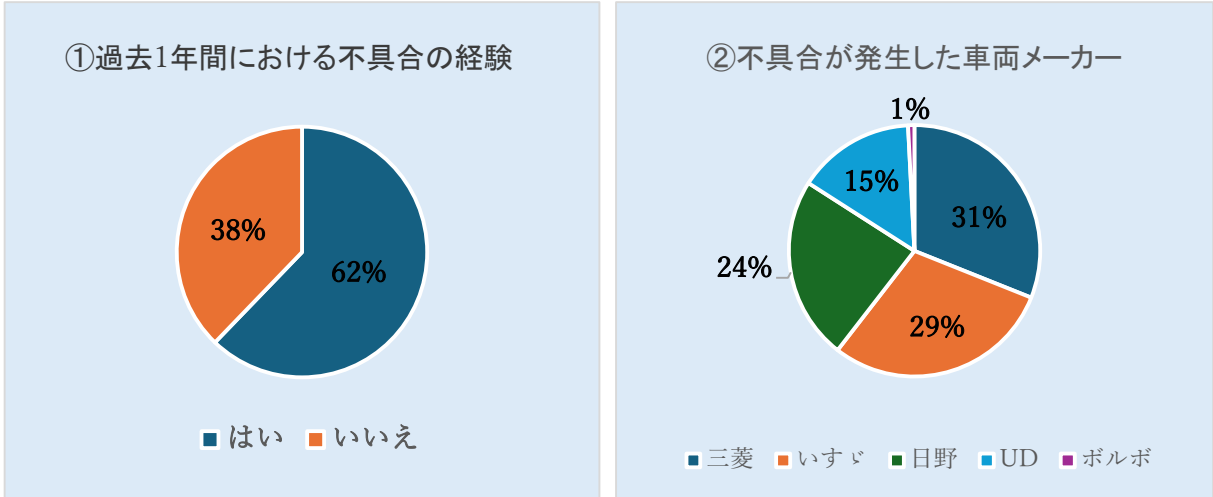
「トラックの不具合情報等に関する実態調査」集計

一般社団法人 京都府トラック協会

(回答数: 会員211社)

(1) トラックの不具合情報

1. トラックの不具合について



【車両形状】

キャブオーバ、バン、ダンプ、粉粒体運搬車、コンテナ車、トラクタ、トレーラー、ミキサー車

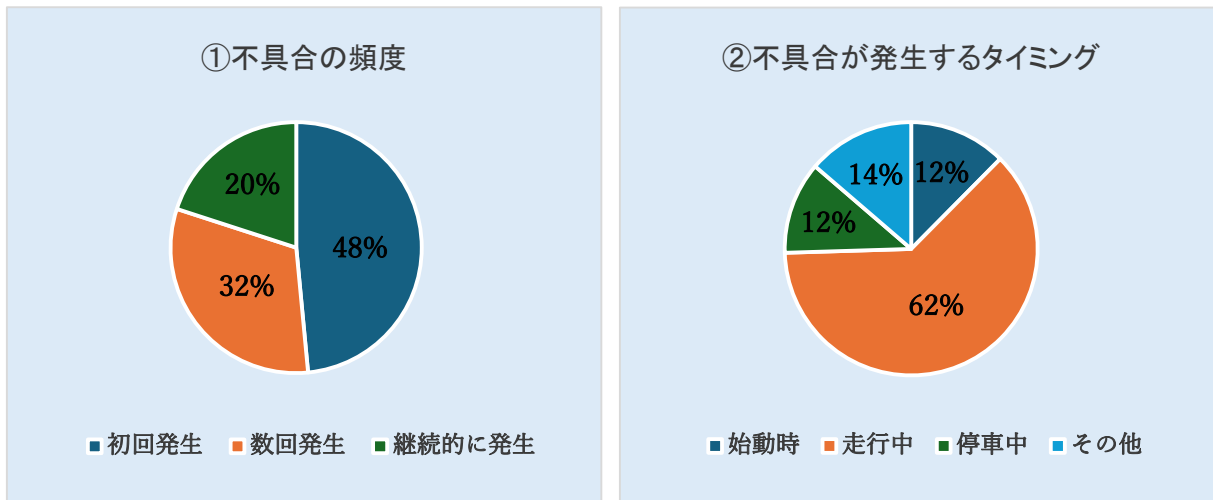
【車両の年式】

平成11年～令和8年式

【走行距離】

10,000km～1,250,000kmにおいて発生

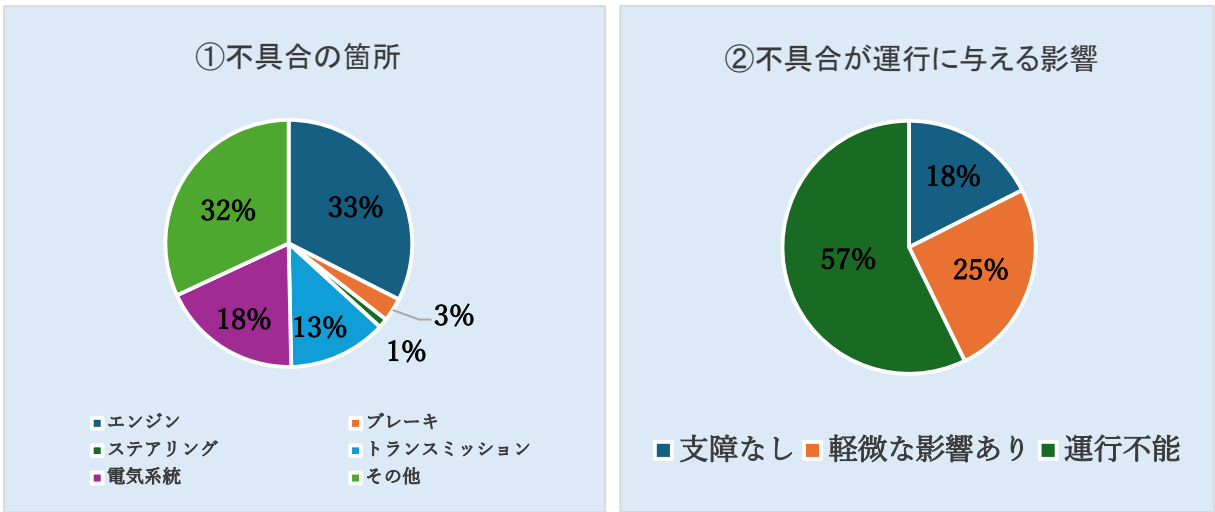
2. 不具合の内容



【発生時期】

令和5年6月10日～令和8年4月3日

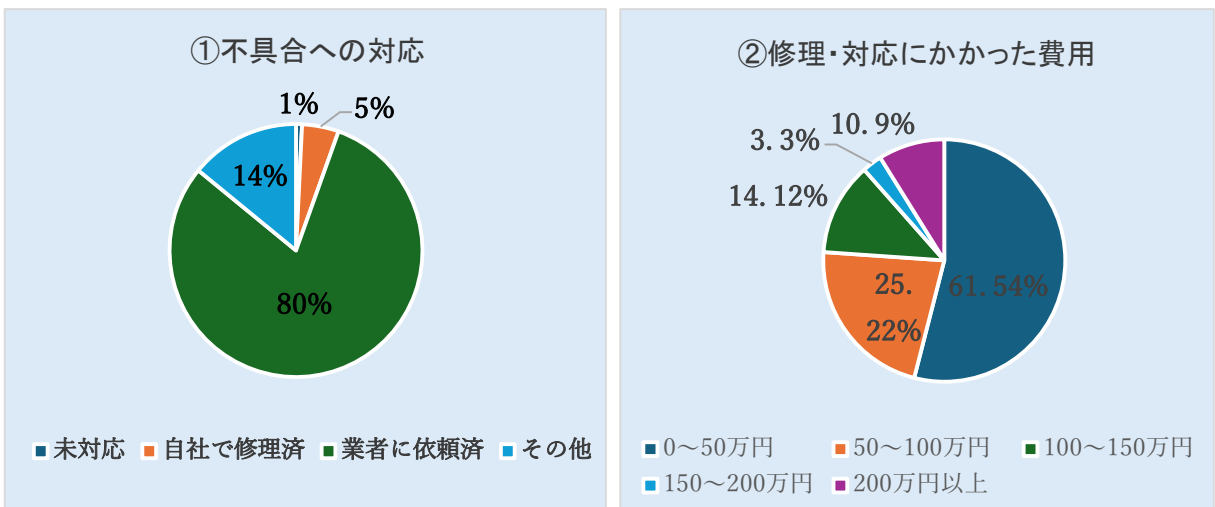
3.不具合の詳細



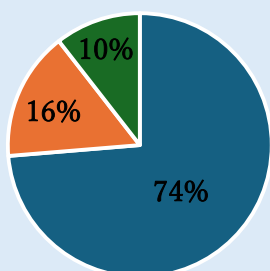
【具体的な不具合内容】

- ・ ミッションオイル漏れ
- ・ ラジエーターの不具合
- ・ オートマの変速不能
- ・ ブザーが鳴る
- ・ ギアが入らない
- ・ 異音
- ・ エンジンがかからない
- ・ エンジン停止出来ず
- ・ エンジンオイル漏れ
- ・ エンジン出力低下
- ・ 自走不可
- ・ DPR スイッチを押しても燃焼しない
- ・ 急にストップする
- ・ オーバーヒート
- ・ アイドリングしない
- ・ サイドブレーキが効かない
- ・ エンジン回転数の乱れ
- ・ エンジンシステム異常
- ・ エンジンチェックランプ点灯

4. 修理・対応状況



③修理後の状態

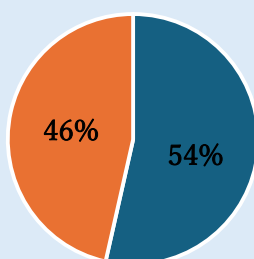


■ 再発なし ■ 数回発生 ■ 継続的に発生

(2)新車の納期について(車種別)

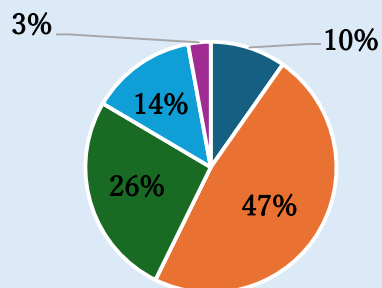
1. 過去1年間で新車トラックを購入しましたか？

①過去1年間の新車導入



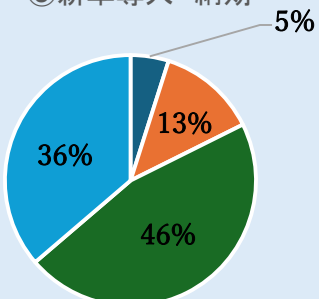
■ はい ■ いいえ

②新車導入 メーカー



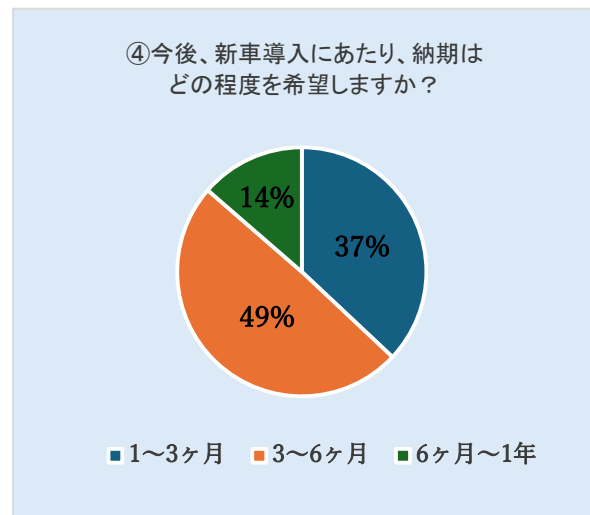
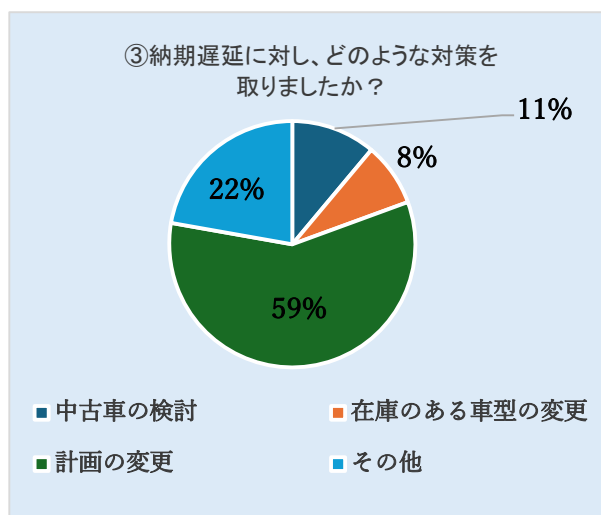
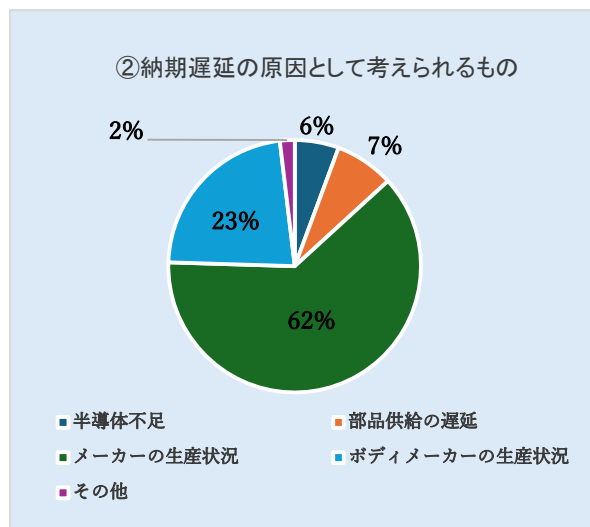
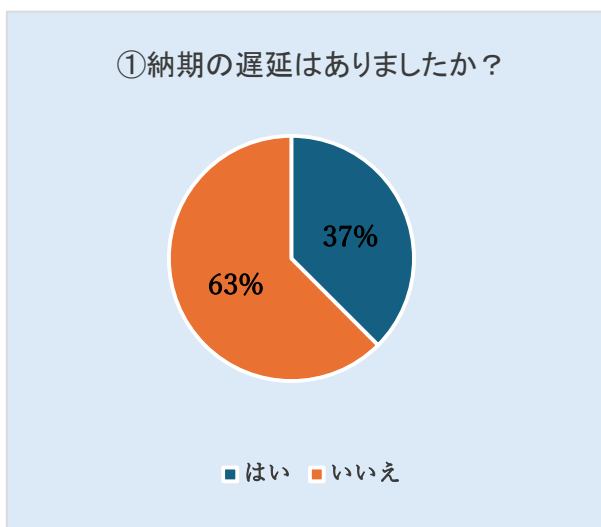
■ 三菱 ■ いすゞ ■ 日野 ■ UD ■ その他

③新車導入 納期

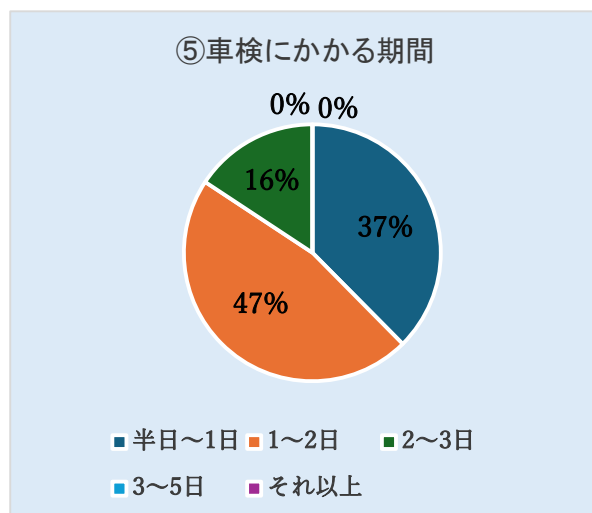
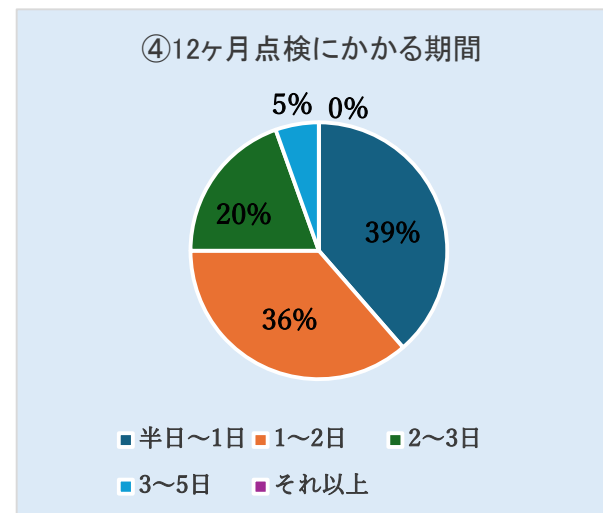
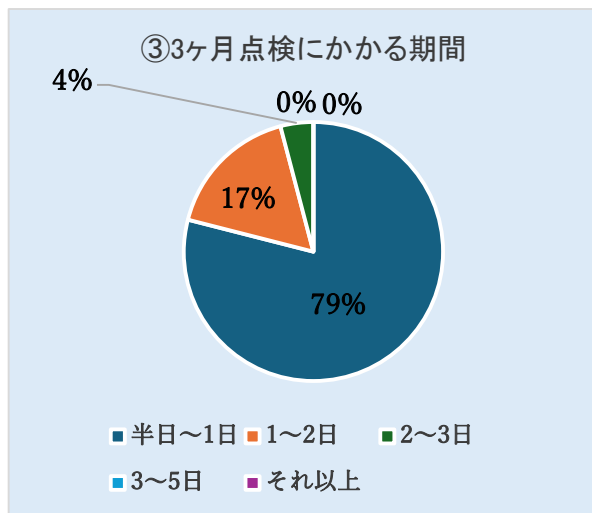
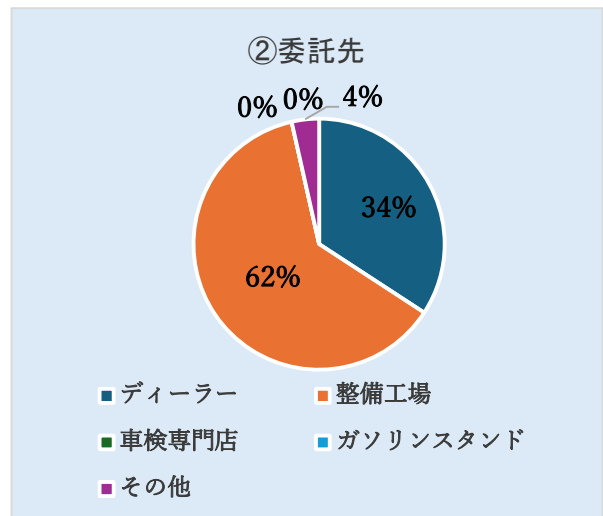
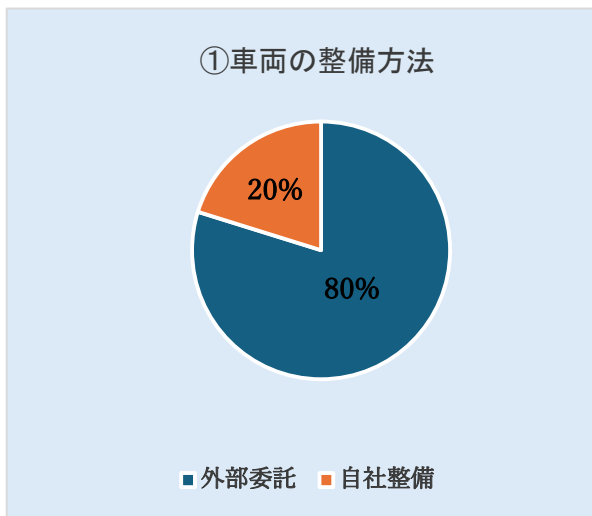


■ 1～3ヶ月 ■ 3～6ヶ月 ■ 6ヶ月～1年 ■ 1年以上

2. 納期の遅延等



(3) 点検・車検整備にかかる期間について



(4)コメント・意見

- ・全ての事に対してコスト高になっており、車両管理費が予算オーバー。
- ・新車の納期が定まらないため、代替が予定通り進まず、古い車両の整備代がかさんでいる。
- ・国土交通省が必要の無い過剰な安全規制が、車両価格の高騰に繋がっている。
- ・常に故障している、まともな車両なし。
- ・原材料、人件費が高額になっているため整備費用が高額になっている。部品も修理よりも交換になることが多いため各ディーラーでのリビルド部品開発、供給を増やしていただきたい。
- ・車検・点検の予約が取りにくく、車両をとめる日数が増えるため業務に支障が出る。
- ・3ヶ月点検も1ヶ月前から予約しなくてはならないので、仕事の予定を組むのが難しい。
- ・三菱ふそうキャンターで、故障2台発生。2台とも廃車で販売。
- ・三菱ふそうから修理代の莫大な請求がきた。油もれの点検修理で550万円。修理期間1ヶ月。
- ・三菱ふそうキャンターは、故障が多すぎるのに対応が遅い。同車両は修理してもすぐに故障する。費用がかかりすぎる。
- ・三菱ふそうキャンターFEB80系5台のうち2台エンジン走行中異音破損。1台ミッション破損。1台エンジンチェックランプ2ヶ月に1回点灯。2年に1回EGRバルブ交換。三菱は不具合が多すぎる。故障が発生しても、修理工場の入庫状況によりすぐに整備できない場合が多くあり、修理時間短縮のために部品のAssy交換が多くなり、修理コストが上がってきており、整備工場の技術向上をお願いしたい。エラーコードにより部品交換するが再度エラーが出るケースが多くなってきた。
- ・三菱ふそう、日野と2社対応しているが、三菱車両の修理・改善が多く見られる。ほぼ出先でのトラブルが多く運行業務に大変苦勞をして、その度お客様にご迷惑をお掛けしている。
- ・エンジンのシリンダー破損は三菱ふそう同型トラックで4台目。信頼性の面で疑問が残る。
- ・三菱の4P10型で非常に苦しんだ。6台以上エンジン燃えた。